おおあさひ支部報

第１３１号
笠間市社会福祉協議会大旭支部
発　行　大旭支部長　平林英男
編　集　大旭支部広報委員会
発行日　令和６年１月１０日
印　刷　有限会社大塩企画

子ども会の活性化を目指して
輪投げ大会・eスポーツ体験

社協大旭支部（平林英男支部長）は、10月29日友部第二小学校体育館で、子ども会輪投げ大会とeスポーツ体験を同時に開催しました。

参加者は、友部第二小常井裕二校長先生、太陽・青空・旭平の各子ども会児童（13人）保護者（5人）、高齢者クラブからは 旭崎新生会・矢野下寿会・三友会・若狭山会・旭台睦会（20人）大沢上1・大沢上3・大沢下2・八幡台2区・若狭山団地の各区長、笠間市社協松田輝雄事務局長・柿長志生里支部担当、大旭支部役員の、合計50人が参加しました。

和気あいあい　三世代で輪投げ大会

開会に当たり、平林支部長から本大会に協力を頂いた各団体へのお礼と、先に開催された子ども会々長との懇談会で提起された「活性化のための話合い」が契機となり、今大会が開催に繋がったと挨拶がありました。

来賓祝辞では、常井校長先生と松田事務局長から「高齢化・少子化のなか、児童が地域に育てられることの大切さ」について挨拶がありました。

Ⅰ　輪投げ大会

輪投げ競技では、豊富な経験を持つ高齢者クラブの方々の協力を受け、参加者全員が的板に当たる投げ輪の大きな音の響く中、和気あいあいの思い出づくりができました。

表彰式では、輪投げ競技の全参加者の中から上位10人と、児童の上位5人へ各賞が贈られ、大会参加者には参加賞が贈られました。

○最高得点者は次の方です。
・高齢者　園部　勝さん（36点）
・児　童　菊池優菜さん（34点）

一投に集中！　輪投げ大会

Ⅱ　eスポーツ体験

eスポーツとは、エレクトロニックスポーツの略で、娯楽・競技・スポーツを指すコンピューターゲームです。

児童は不慣れな大人の心配をよそに、機材を操り二つのゲームを楽しみました。

○「太鼓の達人」ゲーム
テレビ画面に出る3種類のキャラクターの動きに、バチを単打・連打・フチを打ち分けて得点を競う頭脳プレイで、太鼓の音が賑やかでした。

○「ぷよぷよ」ゲーム
テレビ画面に出るキャラクターを並べ替えて、得点を競う頭脳プレイです。

eスポーツは子どもが先生

○大会を終えて
平林支部長は「今回の経験をもとに、児童と地域との交流をさらに進めるよう皆様のご協力をお願いします」と、今大会を締めくくりました。

もくじ

輪投げ大会・eスポーツ体験 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
高齢者クラブ懇談会　グラウンドゴルフ大会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
旭崎１区敬老祝賀会　旭台敬老祝賀会　旭平２区防災訓練 ・・・・・・・・・・・・・・ 3
在宅介護者とのふれあい事業　市長と区長の意見交換会　生け花【写真】・・・・・・・・・ 4
地域とともにある学校づくり（友部第二小　友部第二中　友部中）・・・・・・・・・・・・・ 5
女性部研修会　絵手紙　蝶図鑑　あとがき ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

グラウンドゴルフ大会に備えて熱心な話し合い
高齢者クラブ懇談会

社協大旭支部平林英男支部長は、9月17日9時30分から笠間市地域福祉センターともべで、高齢者クラブ代表者懇談会を開催しました。

平林支部長の主催者挨拶と今後の行事計画の概要説明に続き、小野武旭崎新生会々長から高齢者クラブを代表して、大旭支部主催グラウンドゴルフ大会の経過説明を含めて、ご挨拶を頂きました。

Ⅰ 懇談会の内容

従来のグラウンドゴルフ大会は、高齢者クラブに全ての運営をお願いして来ました。

今回は、今後の大会に備えて熱心な話合いが行なわれた結果、主催者側の役割分担がルール化されました。

グラウンドゴルフ大会

ア 開催日・場所
11月11日・友部第二小学校

イ 来賓招待者
笠間市長 山口伸樹様
友部二小学校長 常井裕二様

ウ 役割分担
○実行委員長 小野武
○審判長 笹嶋秀介
○救護者 関操
○用具調達と会場設営
旭崎新生会・旭台睦会・ふれあいクラブ・旭平ひので会（11月3日細目打合）
○主催者は集計表作成・司会・広報・食事・賞品調達等

グラウンドゴルフの進め方を熱心に検討する

Ⅱ 懇談会参加者（敬称略）

○ときわ会 亘理武
○矢野下寿会 荻津正男
○三友会 太田毅
○旭崎新生会 小野武
○若狭山会 鈴木勝義
○旭台睦会 園部勝
○ふれあいクラブ 青木清
○旭平ひので会 小倉秀男

みんな笑顔・本気 ナイスショット！
グラウンドゴルフ大会

4年ぶりに元気な姿が戻ってきました。前日の雨もあがり、11月11日（土）友部第二小学校で、大旭支部主催第18回「グラウンドゴルフ大会」が開催されました。地区内の高齢者クラブから8チーム（60人）の選手が元気に出場、また来賓として山口伸樹笠間市長、社協職員、救護者関操さん、支部役員、女性部（食事担当）など多数の方々が参加しました。

開会式では、平林英男支部長の主催者挨拶の後、小野武実行委員長から「親睦を深め、のびのびプレーしてください」山口伸樹市長からは「各イベントが復活してきました。体調に気をつけて楽しんでください」と、それぞれ激励の挨拶がありました。

次に、笹嶋秀介審判長から競技上の注意があり、市長の始球式後、A・Bコート別に試合がスタートしました。一人ひとり真剣な表情、一打一打に集中…、熱戦が展開されました。「ホールインワン！」「曲がるな」「入れ、入れ」各コースから声が響いてきました。

約2時間の試合、集計の後、入賞者の発表がありました。

【入賞者の紹介】（敬称略）

○優勝 佐藤トミ子
○準優勝 今野豊雄
○3位 荻津正男
○4位 大津千代
○5位 佐竹しず子
○6位 木村孝男
○7位 兼子甲
○8位 伊王野資武
○9位 飯塚智二
○10位 渡部悟平
◎ホールインワン賞の発表もありました。

さあやるぞ！ 開会式

元気な姿で再会した高齢者クラブの選手たち

閉会式の後、和やかな雰囲気の中、女性部手作りの温かいカレーライスをおいしくいただき、大会が終了しました。

また、大会の準備・運営にご協力いただきました実行委員の皆様に、心から感謝申し上げます。

健康長寿を目指して
旭崎1区敬老祝賀会

残暑厳しい中9月10日（日）75歳以上の人を対象に25人が出席され、盛大に行なわれました。深谷雅夫区長あいさつの後、山口伸樹市長からは、お祝いの言葉と、防犯、自転車のヘルメットの着用及び熱中症対策の3点のお願いがありました。

また、平林英男支部長のお祝いの言葉の後、小野武新生会会長から「健康長寿が大切、お互い思いやり楽しく元気に過ごしましょう」とあいさつがありました。次に、大井川和彦茨城県知事からのお祝いメッセージが披露されました。

式典に続き渡辺米子さんの抹茶が全員に振舞われ、アトラクションでは、ハーモニカ（吉田さん）ウクレレ（久野さん）ベース（大塚さん）の演奏に合わせて、昭和の懐かしいメロディを元気に歌いました。

昼食には高齢者に配慮したお弁当が出て、舌鼓を打ちました。高間香副区長の「来年も元気で会いましょう」の言葉で散会となり、参加者はお土産をもらい、うれしそうな笑顔で帰宅しました。

雨にも負けず元気はつらつ参加！
旭台敬老祝賀会

10月15日（日）旭台公民館で敬老祝賀会（高齢者27人参加）が開催されました。

開会行事では、鈴木肇区長から「雨が降る中、参加していただきありがとうございます。皆さん元気はつらつで60歳代に見えます。楽しいひと時をお過ごしください」と挨拶がありました。この後、祝電の披露、担当係による写真撮影がありました。（写真は、後日配布）

明るい雰囲気のビンゴゲーム

余興では、3人のグループ「Y.K.O.サウンズ」による楽器演奏がありました。久野さん（旭台区員）の語りとともに、懐かしい歌謡曲や唱歌を、大きな声は出せませんでしたが一緒に口ずさみました。

次に、楽しみにしていた『ビンゴゲーム』。班長さんを含む役員の方々の進行により、次々と数字番号が読み上げられました。会場に「リーチ」「ビンゴ！」「1番違い、残念」など一喜一憂の声、声…、明るい雰囲気になりました。5位までに豪華賞品が、6位からも豪華参加賞が手渡されました。

「しばらくね」「また来年、元気で」などと歓談して、笑顔で帰路につきました。

防犯・防災は自分たちで
旭平2区　防災訓練　ふれあいのつどい

青空広がる11月3日（金）、旭崎新農村集落センターで、旭平2区「ふれあいのつどい・防災訓練」が実施されました。

初めに、山口伸樹笠間市長から「地域防災の大切さ『かさめーる』への登録のお願い、市防犯対策補助事業の案内、自転車使用者のヘルメット着用を」などの挨拶がありました。

次に、谷田部裕義区長からコロナ禍後の防災訓練の再開、災害時紅白ハチマキの設置活用などの説明がありました。

10時30分からは、笠間市消防本部友部消防署職員3人から、分かりやすい説明と実技指導がありました。

①AEDの取り扱い・実技
- 電源を入れ指示に従い操作
- 救急車も要請する

②担架の作り方・実技
- 布等と2本の強い棒で作る
- 腰に負担をかけず持上げる

③消火器の使い方・実技
- 大声で「火事だ！」と叫ぶ
- まず壁、風上から放水する

◎「ぼくもやってみる」と、子どもの実技もありました。

「AEDのある場所は？」など多くの質問があり、皆さん熱心に参加しました。

地域の防災は自分たちの力で

在宅介護者とのふれあい事業

大旭支部（平林英男支部長）では、令和5年度事業計画に基づき「在宅介護者とのふれあい事業」を行いました。この事業は、平成29年度から民生委員・児童委員の皆さんが、各介護者宅を訪問することで、実施しております。

今年度も11月に支部役員一同の「添え書き」を添えて、介護の必需品であるバスタオルを配布させていただきました。

「添え書き」

在宅介護者の皆様へ

笠間市社会福祉協議会
大旭支部役員一同

晩秋の候、在宅介護者の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。気の抜けない毎日かと推察いたします。

また、支部の運営には深いご理解をいただき、感謝申し上げます。

今年度も日ごろのご苦労を思い、ささやかではありますが、バスタオルを贈らせていただくこととといたしました。介護の際にお役に立てば幸いです。

コロナとインフルエンザが流行しております。ご苦労も絶えないと思いますが、ご健康に留意されますようお願い申し上げて、挨拶といたします。

最後に、この事業につきましては、民生委員・児童委員の多大なご協力をいただきましたこと厚く御礼申し上げます。

山口市長と区長の役割に関する意見交換会に参加して

大沢区長会会長（大沢上２区長）藤川　重雄

令和4年7月に笠間市行政区条例が施行されました。条例制定の目的は「区民の安全を守ること」の一言に尽きます。例えば、大地震や原発事故の際に各区が市と協力して避難対策を講じることなどです。一方、各区の区長は条例に基づく広報誌等の配布だけでなく、地域に根差した仕事にも携わっております。

例えば区民の皆様から防犯灯代等々の協力金を頂戴することや太子堂・公民館などの管理です。これらは条例に従う区長の仕事ではなく、自治会の仕事ですが、実際には多くの区では区長が自治会長を兼ねております。上記の協力金は区費ではなく自治会費なのですが、この事実はあまり理解されておりません。

大沢区長会は各区長が区長の役割を十分に理解すべきであるとの観点から、今年7月30日に区長研修会を開催しました。9月24日には山口伸樹市長と大沢区長会の間で区長が直面している様々な問題についての意見交換会（市主催）を開催しました。両者は、自治会費が区費と受け取られているため区加入者が減少しているという認識を共有しました。しかし、減少に歯止めをかける方策は手探り状態です。私は区運営とは関係ない他団体への寄附金などを削減して自治会費を値下げすることを考えております。

私は行政区条例下での区長の仕事と自治会の仕事は共に重要であると認識しております。既に実施した太子堂の老大木間伐や運動場の整備、今後予定の上区公民館改修はその一環です。これらの事業は自治会費で賄われております。私はより安全で住みやすい笠間市を目指して行政区条例の浸透に協力を惜しまないつもりです。皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

成田　恵子さん（大沢上3）

お正月を迎えるために生けた花です。

池坊（いけのぼう）は、室町時代から続く生け花です。立花、生花、自由花と花型があり、約束ごとも多いのですが、花に癒されることが何より嬉しく思って続けています。

地域とともにある学校づくり

笠間市教育委員会では、学校の運営方針等に、地域の意見や願いを反映させていくコミュニティ・スクールを進めています。

大旭支部の大部分の児童生徒が通学している友部第二小・友部第二中・友部中に、地域との連携について紹介していただきました。

友部第二小学校

- 校長　常井　裕二
- 児童数　549人
- 学級数　22学級

【地域との連携について】

日頃より、学校の教育活動にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今、全国で「地域とともにある学校づくり」が求められている中、本校は、地域の皆様のご協力により、「安全・安心な学校」で子どもたちの「豊かな心を育む」取組が進められています。

交通安全ボランティアの皆様による朝夕の見守り、区長会の方々の草刈りや学校運営協議会委員による伝統行事の飾り（鯉のぼり、七夕飾り等）や、家庭科の学習支援、蝶の標本の提供などです。

さらに、今年度の新たな取組として、学校花壇の一部を地域との共同花壇「ともにふれあい花壇」としました。地域の方と子どもたちとで一緒に運営を行っています。今後も地域の方々と連携し、ともによりよい学校、よりよい地域をつくっていけるようにしたいと考えます。

友二小ＨＰ

友部第二中学校

- 校長　稲田　義弘
- 生徒数　349人
- 学級数　13学級

【地域との連携について】

日頃から、本校の教育活動に対しまして深いご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。コミュニティスクールの活動には生徒会も加わり、地域と学校が一体となって「地域に誇れる友二中」を目指して取り組んでいるところです。

話合いの中で、友二中の良いところは何かという話題になりました。すかさず、「挨拶のできるところ」というご意見をいただきました。友二中では挨拶や感謝の言葉、ゴミ拾いなどの小さな親切等、優しさあふれる行動をよく目にします。そんな友二中の良さをより多くの方に知ってもらおうと、昨年度から「魅力度アップキャンペーン」に取り組んでいます。学校だよりも郵便局などに掲示してありますので、ぜひご覧ください。また、友二中生の良い行いを見かけたときは、ぜひ学校にお知らせください。

コロナ不安はまだ続きますが、地域の皆様にはご自愛いただくとともに、今後とも友部二中へのご支援・ご協力をお願いいたします。

友二中ＨＰ

友部中学校

- 校長　石井　健
- 生徒数　540人
- 学級数　18学級

【地域との連携について】

学区の民生委員・児童委員の方を中心に、月曜日の下校見守りをお願いしています。生徒の自転車の乗り方に心配な点があったので、とても助かっています。皆さんからも「よく挨拶をしてくれるのでやりがいがある」との声をいただいています。本当にありがとうございます。

その他にも、平成20年から続く緑化ボランティアの皆さんには、緑化委員の生徒といっしょに花壇の作業をお手伝いいただいています。

また、友部中ホームページには宍戸中時代の懐かしい写真も紹介する「思い出アルバム」「友中資料室」、地域の交通の変化や古墳等を紹介する「ぶらっともべ」など、地域の皆さんにもお楽しみいただける内容もありますので、ぜひ一度ご覧ください。トップページのトピックもほぼ毎日更新しています。

友部中ＨＰ

女性部研修会

貴重な文化財を体感 大洗の魅力を満喫

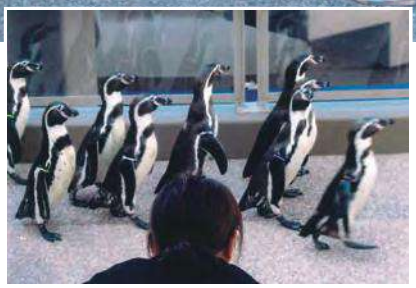
四季折々の景色が楽しめ、海風がここちよい10月24日、支部女性部（渡辺米子会長）研修会が大洗方面に25人の会員が参加し実施されました。

まず、県大洗水族館アクアワールドでは、出会いの海の大水槽、生命の新世海は約20000匹ものマイワシたちがダイナミックに群れ動くパフォーマンス、驚きの新世海オーシャンテラスでは、海風を感じながら生き物の魅力を知り、イルカとアシカたちのダイナミックな演技と演出が一体となって披露されました。

昼食は太平洋に面し、スタミナ満点の食事が阿字ヶ浦クラブで用意されており、それぞれが満足した様子。

午後からは、大洗磯前神社を訪問、宮司から神社の由来が説明され、本殿、拝殿、中門、随神門など、現存する社殿、神門等の彫刻は徳川初期を偲ぶ文化財として貴重なもの、今年で創立1168年になります。祭事では、歳旦祭を始め、節分祭、有賀祭、七五三祭、除夜祭、年越大祓式など多くの人々の信仰に支えられています。

帰りには、湊のおさかな市場で、旬の魚介類や近海で採れた地魚が豊富に揃う森田水産により、店員さんの粋なはからいで両手いっぱいの土産を買って帰路につきました。



絵手紙

菊池　鈴子さん（旭平）

約20年前、最初に絵手紙の会ができてから参加しています。皆さんと作品を見合いながら活動しています。

巻田　美智子さん（大沢）

絵手紙の教室に参加して16年ぐらいになります。画材を持ち寄り、皆さんと作品づくりをするのを楽しみにしています。

蝶図鑑　身近に見れるかわいい蝶たち

３種とも春から秋まで家の庭先、空き地、田んぼのあぜ道など、ごく普通に見れる一円玉位の小さな蝶です。

①ツバメシジミはシロツメクサなどのマメ科植物、②ベニシジミはギシギシなどのタデ科植物、③ヤマトシジミはカタバミなどカタバミ科の植物を食べて育ちます。（平林）

あとがき

毎日、正午に「上を向いて歩こう」夕方5時に「明日があるさ」が、市内防災行政無線で流れます。Jアラート（全国瞬時警報システム）ではなく、日本の空が『平和』であるからです。

令和6年（辰年）は、世界の空に『平和の鐘』が響きますように。

□連絡先
市社会福祉協議会
支部担当まで
☎0296―77―0730